

令和2年度 施策評価シート

基本目標		「すみだ」らしさの息づくまちをつくる
政策	120	すみだの多彩な魅力を内外に発信し、成熟した国際観光都市をつくる
施策	123	訪れる人をやさしく迎える、おもてなしのまちをつくる
施策の目標	来街者をやさしく迎えることで、誰もが安全に、安心して区内回遊を楽しめる「おもてなし」のまちとなるとともに、区民と来街者のさまざまな交流が生まれる「国際観光都市」となっています。	

1 基本計画における成果指標の状況

指標名	外国人観光客の墨田区に対する来訪満足度									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	80.3%				83.0%					85.0%
実績										

指標名	まち歩きガイドツアー参加者数									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	4374				4600					4800
実績										

2 目標と現状(実績)についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移(千円)	
<p>令和2年度に開催が予定されていた東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が約1年後に延期となったが、大会に向けては来街者の増加が予想されることから、歩行空間の整備や交通インフラの充実といったハード面のまちづくりのほか、世界中から本区を訪れるすべての人々を「おもてなしの心」で迎えられるよう、「おもてなし」の担い手となる人材・団体の育成が引き続き求められる。</p> <p>また、「暮らし続けたいまち・働き続けたいまち・訪れたいまち」を実現するため、区民や区内事業者等とより一層連携を図り、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて気運を醸成していく必要がある。</p>	H29	7,099
	H30	18,451
	R1	45,240

3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
B	おもてなしの担い手となる語学ボランティア育成講座は、新型コロナウイルス感染症の影響により講座が2回中止になっているものの、受講・登録者は着実に増え施策目標の達成に向けて一定の効果을上げている。

4 今後の施策の運営方針

評価結果	施策の戦略的方向性
	(1) 優先的に資源投入を図る。
	(2) 現状維持とする。
	(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
	(4) 資源投入の縮小を図る。
【上記の判断理由】	
延期となった大会開催に向けて、IOC及び大会組織委員会では、安全・安心な環境を提供するとともに、簡素(シンプル)な大会を実現することとしているため、区としてもより効果的かつ効率的な事業運営を図る必要がある。	
【今後の具体的な方針】	
気運醸成事業をはじめ、予定していた事業が中止や延期となっていることから、今後については、社会情勢や大会組織委員会、東京都などの動向を注視しながら、ボクシングキャラクターや大会エンブレムを活用した気運醸成、地域協議会を通じた取組など、より効果的な事業運営を行っていく必要がある。	

5 この施策に係る事務事業（重要度・貢献度順）

番号	事務事業名	歳出 決算額 (千円)	人コスト (千円)	歳出 総額 (千円)	目的に対する指標	
					年度目標値	直近の評価内容
					年度実績値	評価結果 評価対象年度
1	オリンピック・パラリンピック 総合調整費	45,240	1,049	46,289	348	廃止を検討
					194	令和元年度
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

令和2年度 事務事業評価シート

施 策	123 訪れる人をやさしく迎える、おもてなしのまちをつくる	部内優先順位
事 業 名	オリンピック・パラリンピック総合調整費	1
目 的	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて区民等の気運醸成を図るとともに、競技大会終了後もレガシーとして持続可能な取組を各課と連携して展開する。	主管課・係（担当）
		オリンピック・パラリンピック室 オリンピック・パラリンピック係 （大場） 内線：5469
対 象 者	区内に住む家族連れ、高齢者、若者など多くの区民の方 国内外から訪れる来訪者	
根拠法令 関連計画	なし	
実施基準	区独自基準	実施方法 一部委託 人員体制・委託先 常勤7人、組織委員会派遣（常勤）8人 委託先:事業により異なる
事業内容	(1)気運醸成 ア ボクシングキャラクター活用事業(シテイドレッシング等) イ 競技体験事業等 (オリンピック・パラリンピックの節目やすみだまつり・こどもまつり等でのボクシング競技普及やバラスポーツ体験によるイベント実施、五輪音頭など) (2)心のバリアフリー普及啓発事業 (3)墨田区オリンピック・パラリンピック地域協議会の運営 (4)ボランティアの運営	
経 過	開始年度	平成29年度
	終了予定	令和3年度
経 過	平成29年 3月 「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた墨田区の取組方針」策定 5月 オリンピック・パラリンピック推進本部の設置 9月 墨田区オリンピック・パラリンピック地域協議会の設立 平成30年 11月 東京2020オリンピック ボクシング競技実施に向けた決起大会開催(共催:(一般)日本ボクシング連盟) 令和元年 6月 東京2020オリンピック ボクシング競技実施決定に伴う決起大会開催(共催:(一般)日本ボクシング連盟) 8月 東京2020Let's55 with すみだの実施(パラリンピック1年前節目イベント) 12月 オリンピック聖火リレールートの公表 一般社団法人日本ボクシング連盟と東京2020大会を契機としたボクシングを通じた取組の連携協力に関する協定を締結 令和2年 3月 新型コロナウイルス感染症の影響により東京2020大会の開催が約1年延期することが決定	
議会質問 の 状 況	[平成29年2定] ・東京2020大会を見据えた「おもてなし」について ・マラソン誘致について [平成29年3定] ・市内の情報共有及び連携体制について [平成29年4定] ・地域協議会の機動的に機能するためについて ・聖火リレーの要望について ・基本計画に掲げた「夢」実現プロジェクトの施策展開について [平成30年1定] ・英語を話せるボランティア育成について ・オリンピック・ボクシング競技の除外報道について [平成30年2定] ・小中学生の大会体験の機会について ・区内事業者による「あしたのジョー」関連商品の販売について ・東京2020応援プログラムについて ・チケットの区民優先枠の検討について ・パブリックビューイングについて [平成30年3定] ・サマータイム問題と東京2020大会の開催時期について ・日本ボクシング連盟の報道による影響について [平成30年4定] ・オリンピックレガシーについて [平成31年1定] ・練習会場に係る費用負担等について ・IOCにおける競技実施の結論について [平成31年予特] ・聖火リレーの際の本区のPRについて [令和元年2定] ・ラグビーワールドカップについて [令和元年決特] ・東京2020大会における区民の出番について ・東京2020大会への子どもたちの参加について ・東京2020大会が墨田区の人たちの思い出残として残す方策について [令和2年予特] ・節目イベントについて ・聖火リレーコースの沿道の盛り上げやレガシーについて ・聖火リレーのサポートランナーについて ・パブリックビューイングの実施について ・区にゆかりのある選手の応援及び暑さ対策について [令和2年1定] ・中止や延期の可能性を見据えた検討状況について	
その他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) ・聖火リレーや競技会場周辺の取組のほか、大会輸送、危機管理対応など区内関連部署や組織委員会、東京都との適宜調整を行う。 ・新型コロナウイルス感染症の状況に注視し、気運醸成の取組を実施していく。	

予算・決算額推移(千円)		27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
予算現額(事業費)			1,683	8,064	20,826	51,414	29,176
決算額(令和2年度は見込み)			1,380	7,099	18,451	45,240	29,176
財 源	国		0	0	0	0	
	都		221	2,063	4,986	12,628	12,140
	その他		0	0	0	2,000	2,000
一般財源		0	1,159	5,036	13,465	30,612	15,036
執行率(%)		#DIV/0!	82.0%	88.0%	88.6%	88.0%	100.0%

予算・決算の内訳（単位：千円）								
平成30年度（決算）			令和元年度（決算）			令和2年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報償費	謝礼等	24	報償費	謝礼等	140	報償費	講師謝礼等	1,174
旅費	普通旅費	54	旅費	普通旅費	58	旅費	普通旅費	129
需用費	消耗品、コピー料金等	1,361	需用費	消耗品、コピー料金等	2,045	需用費	消耗品、コピー料金等	4,221
役務費	郵便料金、保険料等	288	役務費	郵便料金、保険料等	159	役務費	郵便料金、保険料等	749
委託料	イベント運営委託等	16,580	委託料	イベント運営委託等	34,877	委託料	イベント運営委託等	21,016
工事請負	会場使用料等	17	使用料及び賃借料	会場使用料等	836	使用料及び賃借料	会場使用料等	121
負担金補助及び交付金	地域協議会活動補助	127	負担金補助及び交付金	地域協議会活動補助	7,128	負担金補助及び交付金	地域協議会活動補助	1,000

事業の 成 果	手 段 に 対 する 指 標 (活動指標)	指 標	外国人おもてなし語学ボランティア育成講座実施回数				単 位	回
		最終目標値	目標年度	基準年(H28)	H29	H30	R1	
		21回	令和2年度	目 標	3	5	6	7
				実 績	3	5	6	5
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目 標	0					
		実 績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	ボランティア育成講座を的確に実施することにより、受講者のおもてなしの精神が醸成され、訪れる人をやさしく迎える風土が築かれるとともに、大会・都市ボランティアとして大会に関わる区民を増やすことができる。							
	目 的 に 対 する 指 標 (成果指標)	指 標	外国人おもてなし語学ボランティア育成講座受講者数				単 位	人
最終目標値		目標年度	基準年(H28)	H29	H30	R1		
840人		令和2年度	目 標	130	228	240	348	
			実 績	117	199	176	194	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	目 標	0						
	実 績							
指標の選定理由及び目標値の理由								
おもてなしのまちをつくるにあたっては、より多くの人に受講してもらうことが望ましいため。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
廃止を検討	本事業は東京都との共催であるが、東京都は令和2年度以降、事業を継続しないことから、令和元年度で終了となる。

課題・問題点
令和元年度は東京2020大会の開催が間近に迫り、申込者の増加が予想されることから、講座の開催回数を増やした計画としていた。 しかし新型コロナウイルス感染症の影響により、2月、3月に予定していた講座が中止となったことから、最終目標に対し、81.7%の実績となっている。